

## 編集後記

S B I 大学院大学研究科委員会  
研究推進小委員会  
野間 修 石川 秀樹

S B I 大学院大学は、教員の研究論文集である「紀要」を刊行することとした。本年度を皮切りに本学では毎年度、紀要を刊行して行くこととし、本編がその創刊号である。本大学院が今般、主に専任教員を中心とする紀要論文の刊行を決意するに至った経緯と背景は以下のとおりである。

本大学院は 2008 年 4 月の設立以来、本年 4 月で丸 5 年が経過したが、本学が設立の当初に定めたカリキュラム全般や「教育研究上の目的」、及び「学習目標」等は、言うまでもなく時代の変化に則して変えて行くべきものである。そこで、本学の研究科委員会の下に設置された複数の小委員会を中心に、それらの見直しのための議論を重ねてきた。そしてその結果、カリキュラム体系の見直しと並んで、「教育研究上の目的」に関しても、「経営管理に関する理論と実務を融合させた教育研究を通して、高度な専門的知識、的確な判断能力、対人対応力、自己管理能力及び倫理観を備え、グローバル社会で新たな事業を創出するためのリーダーシップを発揮できる高度専門職業人を養成する。」との修正を行った。このようにして、本大学院は教育研究上の目的において「研究重視」の姿勢を明示的に定めたところであり、その姿勢をより具体的に示すために、専任教員を中心とした執筆陣による紀要論文を刊行して行くことを決めたものである。

本創刊号に収められた紀要論文のテーマをみると、中国古典思想から産業革命と起業論、組織・人事論、財務・会計、金融論や国際経済、さらには事業計画関連に至るまで、バラエティに富んでいるが、それは、本大学院が経営人間学から経営管理科目、さらには事業計画演習に至るまでの多彩な科目群を擁していることを反映である、と言えよう。それと同時に、どの論文も理論的な裏付けに支えられつつ、実務的な視点も十分に具備している、と自負しているが、それは、上記の「教育研究上の目的」にある「経営管理に関する理論と実務を融合させた教育研究を通して…高度専門職業人を養成する」、の精神の表れに他ならない。

本論文集の編集や取りまとめの任に当たったのは、本学の研究科委員会の下に置かれた研究推進小委員会のメンバーである。それと同時に、本学の修了生を中心とした人脈ネットワークをも活用することができた。本学は開学してまだ 5 年余りと歴史は浅く、また通学を要しないインターネット主体の大学院であるが、ビジネススクールと呼ぶに相応しい人脈ネットワーク作りには大成功している、と自負している。来年度以降も、本紀要を刊行して行くにあたり、本学内外の人脈ネットワークをさらに活用して参りたい、と考えている。

2013 年 10 月